

みずこ じょうもんじん かお ふくどう
水子ムラの縄文人の顔・服装

顔は横はばが広い・彫りが深い



お父さん



お母さん

アクセサリー

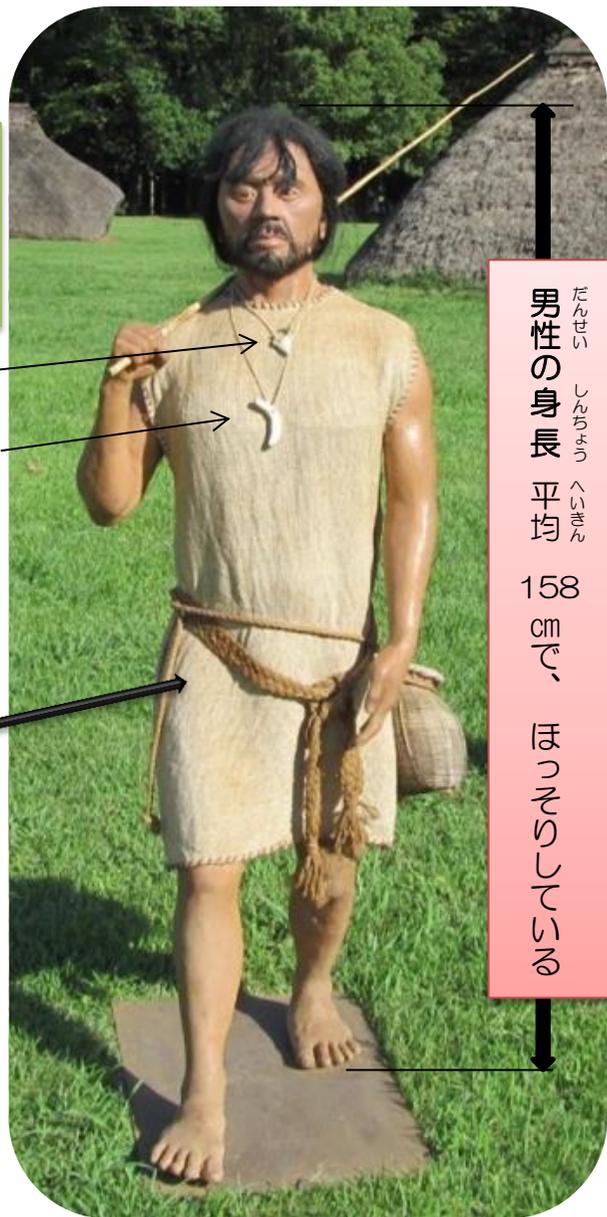
かざりだけでなく、まよけでも身につけました

サメの歯

イノシシの牙

麻などの植物のせんいを編んだ服を着ていました

- め 目 ... おお 大きい
- まぶた ... ふたえ 二重
- はな 鼻 ... たか 高い
- くちびる 唇 ... あつい 厚い
- みみ 耳たぶ ... おお 大きい
- かみ け 髪の毛 ... け 少毛



男性の身長平均 158cmで、ほっそりとしたる

【女性の身長は平均 148cm くらい】

じょうもんじん にほんれつとう たいりく りくつづ やく まんねんまえ にほんれつとう ひとびと
縄文人は、日本列島とユーラシア大陸が陸続きだった約4万年前に日本列島にきた人々
しそん かんが ほ ふか かお
の子孫と考えられています。ハッキリとした彫りの深い顔だちをしていたようです。